

むすんで ひらいて

第57号

発行日
令和7年3月

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック
ナンバーをご覧いただけます



「地域福祉で安心して暮らせるまちづくり」 福井市地区社協連絡協議会を開催！

ふれあいのり
令和6年度号外 発行：豊地区社会福祉協議会

地域福祉の郷・みのりに!

豊い4年 総合的な学習 6/25

総合的な学習で「福祉教育」に取り組み4年生を対象に、福井市社会福祉協議会と豊地区社会福祉協議会の合同出前授業が同校体育館で実施されました。

豊でもが安心して暮らせるまちづくりを目標として、豊地区社会福祉協議会の役割を決定の主な事業について担当役員から説明がありました。

子ども福祉委員の任命式 8/6

子ども福祉委員とは、学校での学習や地域の人々との交流・活動を通して、地域に暮らす多くの人たちに「地域福祉活動」の大切さを伝えることを目的として活動します。

6/25の出前授業に参加した4年生から4名の申し込みがあり、自治会型デイホーム「アイ・サンサン」(黒が丘)にて任命式がありました。

豊い体育館での出前授業

任命式を受け取る子ども福祉委員

自治会型デイホームでの活動

任命式の後、会場に集まってくる高齢者を対象とし、一緒にレクリエーションや体感などをしながら楽しく交流しました。

子ども福祉委員候補は福井市社会福祉協議会と豊地区社会福祉協議会が合同で行う活動です。

高齢者の生活をサポート



次ページでは、
地区の先駆的な
活動をご紹介します!



↑第4次福井市
地域福祉活動
計画はこちら

1月22日(水)、福井市地区社協連絡協議会連絡会を開催し、各地区社協の役員等約140名が参加しました。

研修会では、市社協から第4次福井市地域福祉活動計画の体系や各地区社協におすすめる活動について説明がありました。また、豊地区社協からは「子ども福祉委員活動」について発表していただきました。中川副会長は、「こどもたちの福祉活動を発信源として、地区住民に地域福祉の大切さを広く伝えていきたい」と抱負を述べられました。会場からは、学校との連携方法など、実践に向けた具体的な質問が出たり、熱心な質疑が交わされました。

連絡会の後は、年賀会を開催し、参加者は地区の活動についての情報交換や親睦を深めていきました。

今後も、各地区での先駆的な活動などを共有しながら、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

私の地区では、こんな活動をしています！

福井市地域福祉活動計画に基づいて取り組んでいる、地区社協の先駆的な活動と感想をご紹介します。



和田地区社協では、小学校と連携し、4年生の福祉学習に力を入れています。地区社協やデイホームの取組みを説明したり、実際にデイホーム会場に児童が出向き、地域の高齢者との交流も行っています。楽しい時間を過ごしてもらえよう、児童がゲームなどを考え、毎回大盛り上がりです。

例年、交流は1回のみでしたが、今年度は児童から「もう一度交流したい！」と希望があり、小学校に高齢者を招いて、一緒にフライングディスクなどのニュースポーツも行いました。企画をはじめ、当日のルール説明や進行もすべて自分たちで行いました。

児童が自ら考え、「やるうー」と企画し、実践していることが素晴らしいです。学年があがっても、敬老会などの地域の活動に参加してもらえると嬉しいです。

取組み3

「地域を基盤とした福祉教育で、小・中学生の心を育む」

小学生との交流

交流



和田地区社協



日之出地区社協では、福祉委員と民生委員・児童委員の合同研修会を開催しました。今回は、「助け合い体験ゲーム」を用いて、「介護が必要な両親と同居している男性」が生活の中で「できること」「してほしいこと」を想像しながらカードを出し合い、「助けて」と言える大切さや難しさを体験しました。

参加者からは、「地域に困り感をもつ人がいたら、どのように対応するか、どのような団体とつながるとよいか考える機会になった」「ワークを通して民生委員さんたちと情報交換ができてよかった」などの声がありました。地域ぐるみで支え合うことについて考えるきっかけになりました。

報告交換ができてよかった」などの声がありました。地域ぐるみで支え合うことについて考えるきっかけになりました。



取組み4

「地域の見守り、支え合いへの理解と共感を育む」

「助け合いゲーム」で合同研修

合同研修



日之出地区社協

取組み18

「福祉サービス事業所と住民が地域福祉でできる事を考える」

地域の福祉施設との交流



岡保地区社協



岡保地区社協では、地区社協役員・福祉委員合同研修として、地域包括支援センターの協力のもと、地域の福祉事業所との勉強会を開催しました。

当日は、地区内外の事業所に参加いただき、介護保険制度の説明や各事業所から施設の概要のほか、福祉避難所としての機能や防災、災害備蓄についてもお話をいただきました。普段からの地域のつながりの重要性を再確認する機会にもなりました。

各事業所が、地域住民と一緒に畑作りを行ったり、祭りや学校行事への参加、公民館の清掃活動など日頃から地域との交流を大切に取り組まれています。今回の研修で、さらに顔の見える関係づくりにつながったと感じています。

研修会開催報告

見守り活動に関する研修会

テーマ

「楽しみながら地域福祉活動をするために」
～地域の中のゆるやかなつながりを探そう～

講師 公益財団法人長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美氏

開催日 令和6年8月28日(水)

参加者 69名



地区社協役員を対象とした、見守り活動に関する研修会を開催しました。今回の研修会では、人との出会いとつながりにより生まれる地域づくりや、楽しみながら活動できる視点について、長野県の実践活動から学びました。

研修では、好きなレコードなどを持ち寄る「音楽カフェ」や男性のみのグループ「ゆるいおっさんの会」など、趣味や特技、キャリアを活かした地域の中のゆるやかなつながりや、そこから生まれた見守り活動の事例を紹介していただきました。

参加者からは、「小さなことから始めてみるこの大切さが分かった」「何かを構えてやるのではなく、少しのきっかけがあればいいのだと感じた」「まずは思っていたけどやっていなかったことを早速やろうと思う」などの声がありました。



↑長野県の
実践活動は
こちら



テーマ

福祉委員スキルアップ研修会

「楽しみながら、さりげない見守り活動のあり方」
～雰囲気作り・傾聴のポイントを学ぶ～

講師 仁愛大学 人間生活部 子ども教養学科

准教授 青井夕貴氏

開催日 令和6年11月2日(土)

参加者 94名



福祉委員を対象とした福祉委員スキルアップ研修会を開催し、「コミュニケーションの基本を学びました。

講義では、「関わる前に、相手はどんな人か、何を期待しているかなど、相手を知ることが関心を寄せることが大切」、「信頼関係の構築は、積極的な関わり方の積み重ねである」などのお話を聞きました。その後の演習では、普段の自分を振り返り、自分の特性や癖などを知り、人との関わり方を意識することが大切などアドバイスをいただきました。

参加者からは、「自分の言葉かけや接し方を振り返る機会になった」「相手に対して、自分だけの思いでなくどうしてほしいのか、考えてみようと思う」などの声がありました。



地区社協の活動と取組みを紹介します

美山地区

「住民みんなで支え合う地域福祉」

旧美山町全域を区域とする美山地区は、福井市の面積の約25%を占め、53の集落が点在しています。少子高齢化が進み、2006年の合併時には約5,100人だった人口も約3,400人に減少し、65歳以上が約47%、75歳以上が約27%を占めています。

今回は、美山地区社協の主な活動を二つで紹介します。

一つ目は、「ひとり暮らし高齢者のついで」です。毎年11月に開催しています。今年は、こどもたちのダンスや美山音頭、歌謡ショーなどで楽しいひと時を過ごしていました。昼食は、地域住民の皆さんにご協力をいただいで、打ち立てのおろしそばや手作りお惣菜などを味わってもらいました。交通手段がない参加者は、スタッフが送迎を行いました。

二つ目は、「配食サービス」です。年間20回(月2回、1月と9月は休み)実施しています。11の調理ボランティアグループが交代で調理を担当し、午前中に調理した手作りお弁当を配達ボランティアの皆さんが、お昼までに自宅に届けています。

われませんが、ボランティアの皆さんと民生委員・児童委員、福祉委員、地区社協のスタッフが力を合わせて、地域福祉活動を進めていきたいと思っています。

美山地区社会福祉協議会

会長 辻本 治男



▲食事サービスの様子

▶ひとり暮らし高齢者の集いの様子

明新地区

「毎日を笑顔で過ごせる地域づくりを」

明新地区は福井市の北部、九頭竜川の南側に位置し、田園風景の広がる自然豊かな地区です。地区内には新田塚の地名の由来にもなった新田義貞戦没伝承地の跡地に建つ新田神社があります。

明新地区社協では、人々が安心して生活できるまちづくりを目指し、様々な取組みをしています。その一つに『福祉委員と民生委員の交流会』があります。校区地図を用いて、見守りに関する熱心な意見交換を行っています。

当社協では、主な事業として、自治会型「ホーム」明新げんき倶楽部」を月に5回開催しており、年間で延べ約1,400名が参加しています。また、長年続けている食事サービス事業では、毎月1回、民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者のお宅にお弁当を届け、安否確認と声掛けを行っています。

昨年の12月には、初の試みとして、明新わかば児童クラブにおいて「こども食堂」を開催し、年の暮れも間近な折から、餅つき会を行いました。初めて体験することもたちも多く、大人と

こども合わせて100人余りが、きな粉餅や丸餅づくりを楽しみました。今後も地区住民の皆さんと共に助け合いながら交流を深め、安心して笑顔で暮らせる地域福祉活動を進めていきたいと思っています。

明新地区社会福祉協議会

会長 加賀 のぞみ

◀福祉委員研修会の様子



◀餅つき会の様子

